



表紙 「富士山」

こがねい りょうのすけ [銀の鈴幼稚園]

Shinran  
SS50th  
SS80th

—〈2023年 宗祖親鸞聖人 御誕生八百五十年・立教開宗八百年 慶讃テーマ〉—

南無阿弥陀仏  
人と生まれたことの意味をたずねていこう

東京教区教化委員会報 ネットワークナイン

発行日 2021年1月1日

編集 教化委員会広報・出版部門

「ネットワークナイン」班 編集員

総編集長：本田 彰一（東京1）

チーフ：朝倉 俊隆（東京5）

佐々木誠信（東京4） 五島 大地（東京8） 中村 晃（茨城1） 大山 信敬（茨城2）

チーフ：田上 翼（茨城1）

坂東 性悦（東京2） 平松 正宣（東京3） 櫻田 純（東京6） 秦 顕生（湘南）

チーフ：鞠川 卓史（湘南）

内藤 友樹（東京1） 渡邊 尚康（東京3） 田宮 真人（東京8） 相馬 法道（茨城1）

発行 真宗大谷派東京教区教化委員会

〒177-0032 練馬区谷原1-3-7東本願寺真宗会館

TEL. 03-5393-0810 FAX. 03-5393-0814 Email. nw9@ji-n.net

ご意見、ご感想は上記連絡先までお願いします。

# もくじ

- 03 新年挨拶 藤田 哲史

宗祖親鸞聖人 御誕生八百五十・立教開宗八百年 慶讃事業

教区

- 04 慶讃事業企画運営委員会 発足

特集

「ココロダイアル」インタビュー

- 05 『傾聴』から『敬聴』へ

- 12 法語ポスター

教区教化通信 総合調整総務会

- 14 教区報恩講 企画会だより

はい！こちら真宗会館です

- 16 駐在日記 渡邊 誉

はい！こちら真宗会館です

- 17 所員のつぶやき 北島 昭彦

- 19 敬弔・涌 坂東 性悦

# 2021年 新年のご挨拶

東京教務所長 藤田 哲史



教区内の皆さまに謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は、宗門護持並びに教区の諸事業及び運営に対しまして、格別のご理解をいただき衷心より御礼を申し上げます。

さて、昨年は年明け早々より、新型コロナウイルス感染症が日本国内においても感染拡大が始まり、国民生活と経済に極めて大きな打撃を与えました。宗門も例外ということではなく、様々な事業や行事が重大な影響を受けました。当然のことながら、寺院・教会の活動はもとより、ご門徒の生活にも不安の影響を

落としたことと思います。中には新型コロナウイルス感染症に感染され、健康を害された方もおられるやもしれません。コロナ禍によって被害を受けられた方々に御見舞いを申し上げます。

一方では、コロナ禍において教区・組そして寺院の活動はいかにあるべきかが問われました。感染拡大当初は事業の中止・延期などの対応をするだけで精いっぱいのがかりましたが、収束の見通しが立たない中で、はたしてこのような対応だけでよいものなのかとの思いが募ってまいりました。幸いにも、現代社会はネット社会ともいわれるように、インターネットの普及が進んでおりますので、その環境を活用した手法（オンライン会議システム等）を用いることで、諸会議や研修会の一部を実施することができるようになりました。東京教区では、いち早く「オンラインマニュアル」を作成し、本山や全教区にお届

けをし、コロナ禍における聞法環境の確保の手段を提示することもできました。昨春のコロナ禍の最中に、「コロナ後の社会、宗門はどうなってしまうのか」との不安に苛まれておりましたが、新しい聞法の形が模索され、実践され始めたということは、未来に向けた希望と可能性といえるのではないかと感じております。

いよいよ、二〇二〇年度も下半期を迎えました。困難な局面はまだまだ続くことでしょうが、教区内の皆さまとともに、宗祖慶讃法要に向けて確かな歩みを進めてまいりたく存じております。何卒本年もよろしくお願ひ申し上げます。





# Shinran 850<sup>th</sup> 800<sup>th</sup>

## 教区 慶讃事業企画運営委員会 始動!!



人と生まれたことの意味をたずねていこう

—(2023年 宗祖親鸞聖人 御誕生八百五十年・立教開宗八百年 慶讃テーマ)—

2023年にお迎えする「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」ならびに教区慶讃事業推進のための企画運営委員会が発足いたしました。去る2020年12月11日に第1回会議が開催され、委員長、副委員長の選出、慶讃事業推進に向けた「団体参拝部会」「お待ち受け・法要部会」「教化推進部会」「広報部会」の4つの専門部会の設置と主査の選任が行われました。

▶▶教区慶讃事業企画運営委員会◀◀			
委員	氏名	組・寺院	担当
①	渡辺 智香	川崎組 西福寺	委員長
①	須賀 力	東京5組 道教寺	法
②	高橋 義人	東京1組 敬覺寺	副委員長・団
②	佐抜 邦一	東京3組 念速寺	団
③	荒川 縁	東京7組 瑞法寺	法
④	平松 正信	東京4組 専行寺	法
④	蒲 信一	三浦組 浄榮寺	団◎
⑤	柴崎 光	茨城1組 一乗寺	教
⑤	鈴木 和男	三浦組 圓照寺	団
⑥	白山 勝久	東京5組 西蓮寺	教◎
⑥	土肥 真	茨城2組 光照寺	教
⑥	本多 暁	川崎組 稱名寺	教
⑦	田村 晃徳	茨城2組 専照寺	教
⑦	笠井 英信	栃木組 本誓寺	法◎
⑦	本田 彰一	東京1組 本明寺	教・広◎
⑦	酒井 義一	東京5組 存明寺	教
⑦	廣瀬 麻衣	川崎組 長弘寺	広
⑦	草野 文明	長野5組 正敬寺	団

※委員 (規定 第3条 第2項)  
 ①…教区会正副議長 ②…教区門徒会正副会長  
 ③…教区坊守会長 ④…教区会参事会員  
 ⑤…教区門徒会常任委員 ⑥…教区教化委員会総合調整総務会  
 ⑦…学識経験者

※担当  
 団…団体参拝部会 法…お待ち受け・法要部会  
 教…教化推進部会 広…広報部会  
 ◎…主査

写真…教務所長より  
委員長に委嘱状を交付



「ココロダイアル」インタビュー

# 『傾聴』から『敬聴』へ



今回の特集では、真宗会館の電話相談「ココロダイアル」にスポットをあて、主幹である三橋尚伸氏にオンラインにてインタビューを行い、ココロダイアルの役割やこれまでの状況、および昨今のコロナ禍における「相談する側」「聴く側」の心の変化なども含めてお聞きしました。

また、私たちが悩みを「聴く側」になった時、相談者にどのように耳を傾けていくべきなのかということとを、三橋氏が願いを込めてお話ししてくださいました。

さて、私たちは果たして「話を聴け」ているのでしょうか。お一人おひとりが問い直しながら、「ご覧頂きたい」と思います。



## ココロダイアルについて

### —ココロダイアルの

#### 活動内容を教えてください—

三橋 活動としては毎週金曜日(祝日・真宗会館休館日を除く)、午前10時から午後9時まで開設しています。信仰相談、病や死別の悩み、人間関係の悩みなど相談内容は様々です。「死にたい」といった重たい内容の相談もあります。ココロダイアルを気に入って毎週電話をかけてくださる方もいらっしゃいます。相談時間は最大で1人1時間までです。

### —ココロダイアルではコロナ禍ということでは

#### 相談内容に変化がありましたか—

三橋 私が感じるのは、コロナの問題がおきから、本人がコロナの影響を受けているというところにあまり気づいていない状態で、でも根っこにコロナの影響を受けているという相談は増えています。それはどういふところでわかるかというと、基本的に軽いうつ状

態になっている。でも、それがコロナの影響でいつもより気持ちが落ちているというのを、あまり自覚されていない。それが最近気になるところです。それは

電話を受ける私たちも当然同じ状態なのです。自分は何も影響を受けていない人ではないので、同じくちょっと気持ちが落ちている私たちが、落ちているのを自覚していない人の話を聞くというのが今の特徴だと思います。

### —ココロダイアルはどのような願いをもって

#### 活動しているかを教えてください—

三橋 基本的な傾聴の勉強を多くのお坊さんにしてもらって、ココロダイアルのスタッフになるならんに関わらず自坊でも活かせるように、広く浅く最低限の傾聴のカウンセリングマインドを知ったお坊さんを増やしていきたいと思っています。そうすれば各現場で、



▲三橋 尚伸 氏

きちんと人の話を聞けるお坊さんが増えていくのではないかと思うのです。具体的にはいかに関わる重い内容の相談に対して、相談を受けるスタッフはきちんと対応できる技術・レベルを持つということを目指しています。



## 「傾聴」について

### —聴く側の姿勢について、

よく「傾聴」ということがいわれますが、「この「傾聴」について教えてください—



三橋 まず、「傾聴」ということについて、多くの方が間違つて認識されていらつしやるのではないかと思います。「傾聴」とは、ただ聞くということではありません。耳も心も全て傾け、積極的に意識して全身で聴いていくということです。私がいつも研修会でお話ししているのは、「傾聴の「傾」を「敬」と思つて、相手の方を敬いながら聴くという姿勢を目指してほしいということです。」

皆さん、相手の方から聴けていないんです。例えば、「これつてどういうことですか」と尋ねられて、答えを自分が知らなかったとするじゃないですか。その時に、「素直に「ごめんなさい、それ知らないんです」と言えない。そういうお坊さんがものすごく多いと感じます。勝ち負けで戦つてしまつていゝんです。そこを崩していかなければなりません。相談を受けるというのは、戦つて勝ち負けの決着をつけることではないですから。」

—「全身で聴く」とは  
「傾聴」の「傾」を「敬」と思つて

三橋 「聴く」「話す」というと、言葉・言語

しか意識していないと思います。けれども言葉というのは聴覚で聴きますでしょう。話し方のリズムや、相槌のタイミング、声の色などを「傾聴」するのです。

また、通常のカウンセリングでは面接が多いですが、その時には表情や態度という目からの情報でも「聴ける」んです。相手の表情や態度、声色、話すスピードが早くなつたかとか止まつたかなどを全身で聴くんです。そしてこちらも自分の全部を使って伝えるんです。

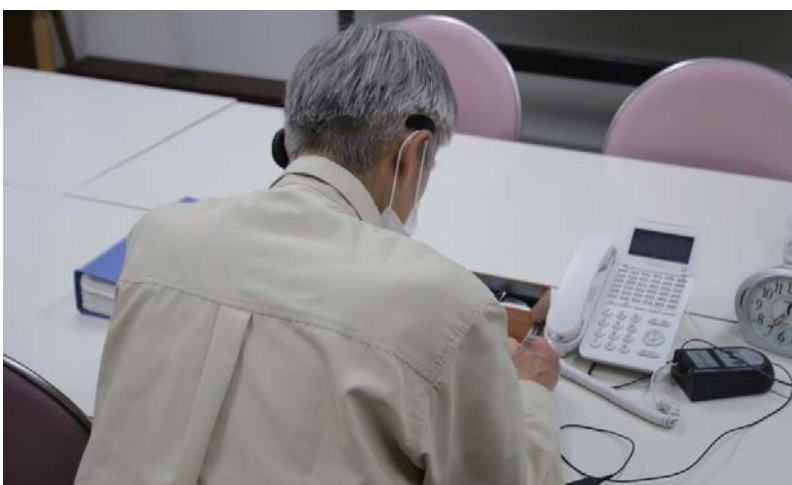
—相談を受けていて、

つい自分の意見を言つてしまつことも

ありがちかと思ひますが—

三橋 それはもう傾聴でも何でも無い、コンサルティングです。相談者が知らない情報を知つていたり、相談者より経験が深かつたり長かつたりする、上に立つた立場の人が、その問題のことを知らない相手（相談者）に対して「教えてあげる」。だから完全に上下関係です。けれども、電話相談やカウンセリングはコンサルティングではありません。例

えば胃癌の患者さんから「ちよつと胃癌が発見されて今すごく辛いんだ」と電話が来て、たまたま自分が胃癌の経験者だつたとしますよね。コンサルティングだつたら、いや私の場合はこの先生に見てもらつて、こういう治療をして、今こんな元気にいるからあなたも頑張つてくださいなります。しかし



▲電話相談を受けるスタッフ

傾聴するというのは、私とこの人は同じ病名がついているけれども、体力も違う、痛みに対する感覚も違う、もしかしたら性別の違いもあるかもしれない。だから「私の経験」では目の前の人の病気の苦しみは「わからない」んです。私はこうだったけれども、目の前の人は違うかもしれない。だから自分の経験で話すのではなくて、聴いて教えてもらうんです。そこが難しい。どうしても、自分の場合はああだったこうだった、あなたもそうしたらいいよ、というコンサルテーションになつてしまいがちです。そうすると相談者はどんな気持ちになるか。「あなたはそれでよかったでしょうけれど、私は違うんです。私の話は何にも聴いてくれないんですね」となつてしまふんです。

―若手僧侶が年配の「門徒から相談されて、

何か言いたければ何とも言えない

と「いつに」ともあるかと思いますが―

三橋 それは結局、自分が喋りたいということでしょう。もつと言つと、知識のある者として格好いい答えを提案してあげたいという

ことではないですか。全然「聴こう」という態度ではない。経験は関係ないんです。もし経験が必要なのであれば、男性は女性の話を聴けないですよ。子育ての悩み苦しみを聴けるのは、子どもを持つている人だけかという話になってしまふ。カウンセリングというのはオールマイティなので、女性の私でも男性の社会的な苦しみの話が聴けるわけですし、子どもがいないカウンセラーであっても、子どもと母親の間の苦しみの話は聴けるんです。それが傾聴なんです。

もし二十代の若いお坊さんが、七〇〜八〇歳代のおじいちゃんおばあちゃんから、「死んじゃつたらどうなるんだろうね」とか、「最近ちよつと先が不安なんだよ」というような話をされた時でも、経験なんて関係ないんですよ。もうちよつと具体的に、どういう苦しみが聴かせてもらえますか、聴いて教えてもらうんです。目の前の人が先生なんです。聴く側は、人生の悩み苦しみ、あるいは喜び楽しみを教えてもらう立場ですよ。相手のことを全然わからないからこそ、もう少し詳しく教えてもらつていいですか、あなたのことを知りたいですつてことですよ。

―私たちの「聴く」という認識がいかにか

違っていたかということを感じます―

三橋 毎年数カ月をわたつて「心理的サポートの学習会(全6回)」という研修会を行なっているのですが、参加者の多くは最初、「自分は話を聴けている」と思っています。ところが研修の後半くらいで、「ああ何にも聴けていなかった、こんなに聴けていなかったのか」と、結構な数の人が研修中に泣きます。また、コロダイアルは練習ではなく生の現場ですから、聴き方がちよつとでも下手だと、相談者の方に「あなた聞いているの!」と厳しくいわれることもあります。するとそこでまた電話を切つてから、もう無理です、もう辞めさせてくださいと泣いてしまふ。それを何回も何回も繰り返して、相談者に育てられていくんです。

私はいつも、何十時間研修を受けているよりも、一本の電話であなたは変わるからつて、スタッフに言っています。だから辞めないで頑張れつて。自坊に戻つてから、座学で学んだ技法とかそういうものを使おうと思つても、全然有効ではないですよつて。





最後に、

これから相談を受ける方に対する

メッセージはありますか

三橋 やはり敬って聞く、「敬聴」ですね。目の前で苦しんでいる人に対して、掌を合わせられるかどうかということですね。私自身も相談者の話を聞いていて「何でこの人はこんなことを言っているんだろう」という気持ちが起こることもあります。しかし、それが鏡のように見えてきて、そのたびに「また同じことをやっている。敬聴になっていない」と思い知らされます。それに対してクライアントさんが「ちゃんと聞いているのか」と怒ってくれます。そのお叱りを受けて「凡夫が高みに立とうとすることは止められない、しようがない」と思いながらも続けています。

忘れてしまいがちですが、凡夫であるという自覚を常に持っていたきたい。正義の人になるのではなく、今まで聞いた教えや教わった事を忘れずに、実践して生きてもらいたいです。

みつはししよっしん  
三橋 尚伸

真宗大谷派僧侶・産業カウンセラー・メンタルレスキュー協会会員・医療リスクマネージャー、日本カウンセリング学会会員。

主な著書に、『「病」を包むお見舞い言葉』（講談社）、『死で終わる命はない』（ふねうま社刊）など。



所感

ココロダイアルを特集で取り上げることが決まった時、活動内容の紹介を中心に、三橋氏にコロナ禍における相談内容の傾向とカウンセリングをする際の心構えについてインタビュウを行い、それを記事にするというイメージを持っていました。しかし実際にお話を伺うと、相談を受ける際には、自分の経験に基づいたアドバイスをするのはなく、相手を敬って対等に話を聞き、相談者に教えて頂くという姿勢が大事だということが分かり、自分の考えが覆されました。

人の話を聴くということは一見簡単のように思えますが、それができているのかと自分自身に問われているように思いました。

三橋氏には、お忙しい中インタビューにに応じていただき、誠にありがとうございました。  
(平松正宣)

取材：田上班

# 東京教区内での取り組み

## 横浜別院グリーンフケア

グリーンフケアとは大切な人や物を失い深い悲しみに暮れる人に対して、その悲しみに寄り添いサポートすることです。

横浜別院では神奈川教化センターでの取り組みの一環として、グリーンフケアの活動を行っています。専門の講師をお招きして、実際にグリーンフケアができるスタッフを養成する講座を開催し、また講座を修了したスタッフによる「グリーンフケアのつどい」によってグリーンフケア実践の場を設けています。

### グリーンフケアのつどい日程

2021年2月13日

※偶数月の第2土曜日開催

申し込み不要

※養成講座は現在休止中です。

## 心理的サポートの学習会

私たちは、たくさんの方との出会いの中で、さまざまな心の悩みの相談を受けることがあります。そしてその悩みを打ち明けられた「私」は、その相談者と、どう向き合えばよいのでしょうか。また寺に身を置く一人として、悩みを抱えた方々と、どのように歩みを共にすることができのでしょうか。講師として今回の特集でお話いただいた三橋尚伸氏をお招きし、「カウンセラーのように人の悩みを聞く」とを目的とするのではなく、「私を知り、人の声に耳を傾け寄り添うこと」で、あらためて「私」と出会うことを願い、学習会を開催いたします。

※いずれも13時半より、事前申し込み制です。下記のQRコードよりお申し込みいただけます。



### 【お問い合わせ】

「真宗会館」(担当: 館・大山)

TEL: 03-5393-0810

MAIL: info@shinshu-kaikan.jp

### 心理的サポートの学習会 日程

第1回	2021年2月2日	(火)
第2回	2021年2月25日	(木)
第3回	2021年3月8日	(月)
第4回	2021年3月22日	(月)
第5回	2021年4月6日	(火)
第6回	2021年4月26日	(月)

## 電話・SNS 相談一覧

※コピー等をしてご活用ください

### 真宗大谷派 電話相談

東本願寺 いのちとこころの相談室

**075-371-9280**

受付 毎週木曜日（※祝日または休館日、その他行事日は閉室）

時間 13:00～17:00（1回30分）

東京宗務出張所 ココロダイヤル

**03-5923-5560**

受付 毎週金曜日（※祝日／真宗会館諸行事日はお休みとなります）

時間 10:00～21:00（原則1回30分程度）

名古屋教区 老いと病のための心の相談室

**052-331-9580**

受付 平日

時間 13:00～16:00

### 宗派外 電話・SNS 相談

チャイルドライン（特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター）※18歳までの子ども専用

**0120-99-7777**

受付 毎日

時間 16:00～21:00

いのちの電話

（一般社団法人 日本いのちの電話連盟）

**0570-783-556**（ナビダイヤル）

受付時間 年中無休 10:00～22:00

※全国各地のいのちの電話のうち、その時空いている電話につながります

女性の人権ホットライン（法務省）

**0570-070-810**

受付 平日

時間 8:30～17:15

SNS 人権相談（法務省）

相談時間 平日 8:30～17:15



こころのほっとチャット

（特定非営利活動法人東京メンタルヘルス・スクエア）

相談時間 毎日

第1部 12:00～16:00（15:00まで受付）

第2部 17:00～21:00（20:00まで受付）



10代20代の女の子専用LINE

（特定非営利活動法人 BOND プロジェクト）

相談時間 毎週 月曜日・水曜日・木曜日・金曜日・土曜日

第1部 14:00～18:00（17:30まで受付）

第2部 18:30～22:30（22:00まで受付）



チャイルドラインチャット相談

（特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター）

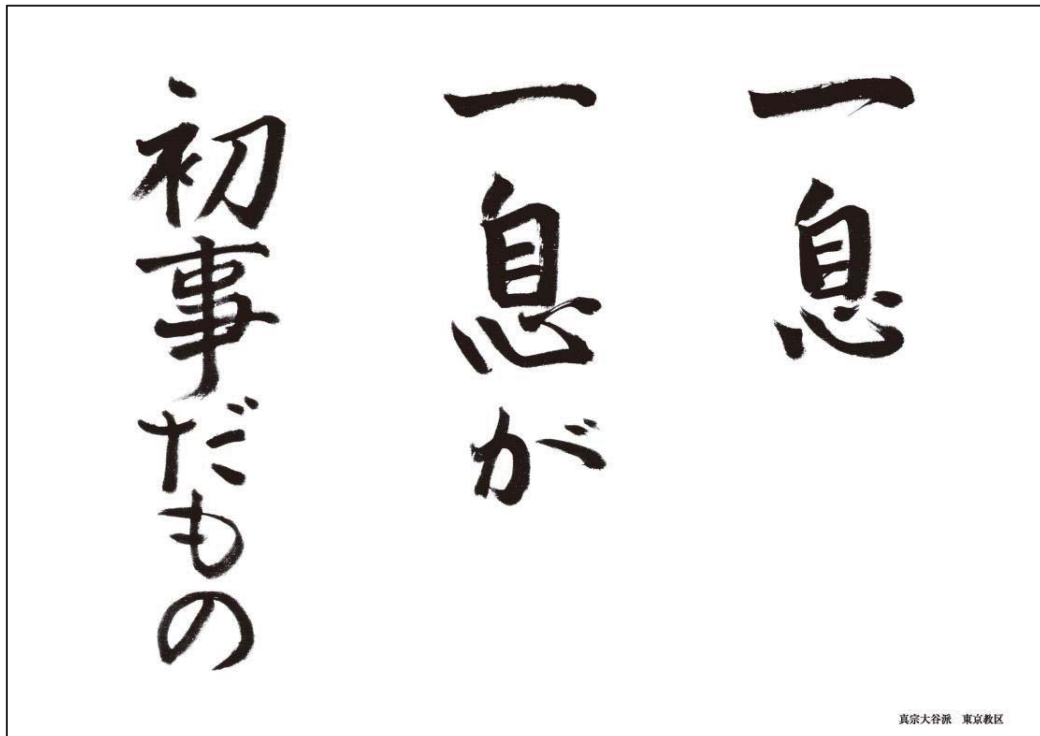
相談時間

毎週木曜日・金曜日・第3土曜日 16:00～21:00





## 今月の法語

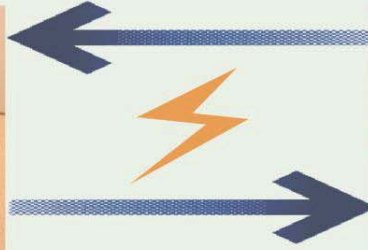


書：佐藤 多仙

- ・頒布中「掲示伝道用ポスター」(A2 サイズ)  
「掲示伝道ポスターミニ」(ポストカードサイズ)
- ・「掲示伝道用ポスター」が貼れる門徒宅用掲示板を無償設置いたします。  
詳細は東京教務所まで。

Web会議ツール **Zoom** 用 **オンラインマニュアル** **主催者編 & 参加者編**

新型コロナウイルス感染拡大を受けて、オンライン法座を検討されている方々への一助となるよう、東京教区では web 会議ツール「Zoom」用のオンラインマニュアルを作成しました。  
ダウンロードしての印刷・配布はもちろん、独自に文字等を変更することも可能です。  
どうぞ下記、東京教区ホームページよりダウンロードしてご活用ください。



真宗大谷派東京教区ホームページ（暮らしにじいん）  
<http://www.ji-n.net> にてダウンロードできます。

※web版は随時バージョンアップし、アップロードしていきます。

問い合わせ先 東京教務所（佐々木・渡邊 楽）

教区教化通信 総合調整総務会

# 教区報恩講 企画会だより

2021年教区報恩講 テーマ「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」

サブテーマ 「今、であう」

主催：真宗大谷派 東京教区

## 東京教区

# オンライン 報恩講

— 今、であう —

日時 **2021年1月28日** (木)

日程

12:50	配信開始
13:00	開会 (真宗宗歌)
13:10	勤行
14:10	感話 (高橋 昭彦氏/東京5組存明寺)
14:20	法話 (海法龍氏/三浦組長願寺)
15:30	閉会 (恩徳讃)

南無阿弥陀仏  
人と生まれたことの意味をたずねていこう

### オンライン報恩講について

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、本年度の東京教区報恩講は規模を縮小し厳修いたします。  
つきましては、真宗会館に参詣していただくことができません。そこで、報恩講の日程をインターネット (YouTube) にてライブ配信を行います。念珠、真宗大谷派勤行集 (赤本) を準備していただきご聴聞下さい。ご不明な点は真宗会館 (東京教務所) までお問い合わせください。

東京教区 オンライン報恩講特設ページはこちらをご覧ください  
<URL> <http://www.ji-n.net/> 暮らしにじいん 報恩講

真宗大谷派東本願寺 真宗会館 (東京教務所) TEL/03-5393-0810 FAX/03-5393-0814  
〒177-0032 東京都練馬区谷原1-3-7 mail/tokyo@higashihonganji.or.jp HP/http://www.ji-n.net/

※注意※

当日は真宗会館に参詣していただくことはできません。

東京教区ホームページは、下QRコードからアクセスするか「暮らしにじいん」で検索。



<http://www.ji-n.net/>

ご案内の通り、2021年東京教区報恩講は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、期間や法要内容を縮小し、出仕者、参詣者を限定させていただきます。

つきましては、「YouTubeライブ」による配信をいたしますので、お寺もしくはご自宅から報恩講のお参り、感話、法話の聴聞をお願いいたします。

詳細は同封のチラシをご覧ください。東京教区ホームページ「暮らしにじいん」にアクセスしていただき、ご確認ください。

いよいよ

東京教区報恩講!!

(オンライン)



## お寺に集まって東京教区報恩講を

### 一緒にお勤めしませんか

今年の東京教区報恩講は「YouTubeライブ」による配信を行います。オンライン配信ということで、どこからでも東京教区報恩講にお参りすることができます。しかしながら、パソコンやスマホ、タブレットをお持ちでない方、また不慣れな方は参加することが難しいということがあります。

そこでお寺などを会場として集まっていたら、スクリーンやテレビなどのモニターに映像を映して、皆さんと一緒に東京教区報恩講をお勤めしてはいかがでしょうか。これまで東京教区報恩講に参詣できなかった方が参加できるチャンスですし、また法話終了後に座談会や茶話会を行ってもいいかもしれません。どうぞ皆さんの発想で新しい取り組みが生まれることを願っています。

※お寺などに集まる場合は、「3密」を避け、感染防止対策をお願いします。

※開催に当たっては教区作成の「オンラインマニュアル（主催者編、参加者編）」を是非活用ください。ご不明な点は東京教務所までお問い合わせください。



## 『ネットワーク9』に 情報をお寄せください

教区教化委員会報『ネットワーク9』では、例年教区報恩講を特集記事として取材し掲載してまいりました。2021年教区報恩講がオンラインで厳修されるにあたり、『ネットワーク9』編集部では、どのような角度で取材し記事を作成するかを検討してまいりました。

今回の教区報恩講の取材に当たり、真宗会館の様子はもちろんのこと、上記のように、お寺に集まって東京教区報恩講をお勤めする寺院を取材したいと考えております。

ぜひ、そのような計画を立てている寺院、また情報がありましたら『ネットワーク9』編集部までお寄せください。何卒よろしくお願いたします。

※情報の提供先は東京教務所（担当：佐々木 までお寄せください。

TEL：03-5393-0810

はい！こちら真宗会館です

# 駐在日記



駐在からひとこと（最近観た映画）

『ラストムービー』（1971年/アメリカ）

監督：主演デニス・ホッパー

写真：オンラインマニュアルができました!!

東京教区駐在教導

渡邊 誉

昨年夏、母の葬儀後、お世話になった葬儀社から「お母様の遺影をどなたかお持ち帰りになりませんか」と、その場に居合わせた私たち遺族に申し出られた言葉を聞いた。葬儀会場で使用され、火葬場にも持って行った四つ切りサイズの遺影は父が自宅にそのまま持ち帰ることになっていたのだからハガキよりひと回り大きいサイズの遺影は誰が引き取ることになるのか、その場での相談となった。姉と弟が異口同音、私に向かって「どうぞ」と言い、親戚も「あなたが持って帰るのが一番いい」と後押しした形になり、私が持って帰ることになった。遺影は私の結婚式の披露宴直前に親族一同で撮影された時のものから切り取られ、母だけをピックアップしたものだと葬儀場に入った時から気づいてはいた。遺影を持ち帰って役宅の和室の座卓の上に置いた。それから朝夕と何となく遺影の前に正座をする自分に気恥ずかしさを感じたま

ま暫くそのまま過ごした。

写真だけでは味気なく近くのスーパーマーケットで売っている花を買ってきた。花瓶もついでに買った。遺影と花が並んだ。何か足りないと思ったら、ご本尊だと気づきすぐに「三折り本尊」を求めた。三折り本尊を安置すると、やはり朝夕のお勤めをしなければと、お鈴、燭台、香炉も買い求めた。そんな矢先の「新型コロナウイルス」感染拡大の影響で一周忌はもとより、親戚、家族までも一堂に会することが困難になった。そこで自室に一人で初盆を兼ねた一周忌を勤めることにした。あらかじめ電話で実家の父や姉弟にもその旨を伝えた。

このように自室に「ご本尊」をお迎えすることになった境遇に、今更ではあるが、不思議さを感じている。

※正しい荘厳とお給仕については東本願寺出版『お内仏のお給仕と心得』や教化冊子等をご参照ください。

はい！こちら真宗会館です



東京教務所次長  
北島 昭彦

担当：東京教務所事務全般の管理及び整理  
最近、スコーンにハマっています



昨年11月に自坊で報恩講をお勤めしました。自坊は石川県ですが、首都圏と同様にコロナ対策がとられ、法座数の縮小、僧侶方のお参りあい中止、お齋中止など、例年と比べるとかなり制約を受けた報恩講となりました。

当日は本堂入り口での消毒、マスク着用をお願い、手指の消毒、検温の実施、本堂の換気等を行い、例年と変わらず多くのご門徒さん、地域の方がお参りくださいました。町内の人口の半数以上が65歳以上という地域では、コロナ禍において一体、どれだけの方がお参りされるか見当もつきませんでした。皆さん、「報恩講にはお参りしなければ！」との思いで足を運んでく

ださったようで、中にはタクシーで30分以上かけてお参りくださった方もいらっしゃいました。本当に有り難いことです。

報恩講が終わり、後片付けをしている時に婦人会の方が「今年はお齋の準備がなくて、体力的には楽だったけど、ちょっと寂しいね」と、話されていました。準備は大変だけれども、皆がつどい、仏法を聴聞し、お膳をともにして、いのちについて考える大切な場であることを言われたのだと思います。コロナ禍に限らず、仏事・法座の場を大切にしなければとあらためて感じた報恩講でした。



このたび、東京教区の「掲示伝道ポスター」作成にあたり、広く掲示用の言葉を募集いたします。

つきましては、教区の皆様に対し、普段の生活を通して心に残る言葉がございましたら、是非、ご紹介賜りたく募集いたします。

# 「掲示伝道ポスター」 言葉を大募集

言葉で迷い  
言葉で傷つき  
同時に言葉で  
目覚める

## 募集要項

概要：応募いただいた言葉の中から東京教区教化委員会・広報出版部門で法語ポスターとして選定させていただきます。（選定されない場合があることをあらかじめご容赦願います）

募集：所定の用紙でFAX、郵送にてご応募ください

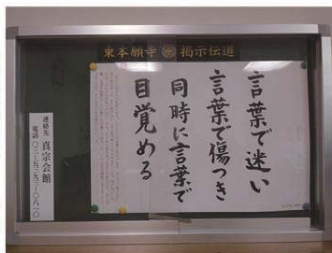
締切：2021年2月12日（金）

※ご不明な点は東京教務所 Tel.03-5393-0810  
（担当：佐々木・大橋）まで

## 「門徒宅用伝道掲示板」設置の募集

### 東本願寺 掲示伝道

・ 掲示板サイズ  
高さ58cm 幅87cm 重さ約10kg



- ① 内容  
教区教化委員会発行の法語ポスターや同朋大会等のポスターを掲示していただきます。  
（掲示物は教区から送らせていただきます）
- ② 掲示板は無償で設置いたします。  
（教区が全額負担）
- ③ お申し込み、お問い合わせは東京教務所（担当：粟生）までご連絡ください。

ご自宅の塀等をお貸しいただけるご門徒を募集いたしますので、ご協力賜りますようお願い申し上げます。



# 涌<sup>ゆう</sup>

## 編集員の随筆



「手ぬぐい」といえば、必ずどこの家庭にも1本はあることでしょう。最近では日常的に使う方は減ってきていますが、古くから日本人には愛用されてきました。手ぬぐいの特徴としては、両端が切りっぱなしになっていることではないでしょうか。これは余った生地をそのまま使い始めたのが原型のようですが、現在でも同様の形状です。縫製することなく使われ続けているのです。

しかし、ここでひとつ問題になるのは、切りっぱなしであるためにその両端にほつれが生じてしまうことです。このほつれは、手ぬぐいの用途を考えただうえでも非常に重要な意味があるようです。手ぬぐい本来は、濡れた手を拭いたり、汗を拭いたりすることに使いますので、水切れがよく乾きやすいほうが便利なのです。そのため、切りっぱなしにしてあるほうが縫製してあるよりも数段乾きやすいのです。

このように手ぬぐいのほつれひとつにもその理由と歴史が隠れているということに気が付くと結構面白いものです。しかし、このほつれだったり、糸が飛び出したりしているのを格好悪く思うということもあります。ほつれたままだと不十分だと感じ、縫製することで仕上がった感が得られるということもあります。

糸が飛び出したり、乱れたりしないように縫製してきれいに揃える。決まり事や整っていることに慣れ親しんでいる私たちは、不規則なものを許せない傾向が強くなってきているのかもしれない。私たちの生活や心のありようも縫製するかのごとくピタッとまとめるのではなく、手ぬぐいのようにフワッとほつれた感じを楽しむ余裕があってもいいのかもしれません。手ぬぐいのほつれは使い込むと自然と止まるといいます。

(東京2組 報恩寺 坂東 性悦)